

■ 次の英文を読み、以下の文を文中のア～オのどの位置に補うのが最も適切か。その記号を記せ。 [09年]

① Widely replaced by more affordable and convenient ballpoint and rollerball pens, today fountain pens as everyday writing tools are rarely seen. ② Precisely for this reason, they have caught the eye of collectors.

ア ③ For collectors, an item's value is increased not only by how rare it is but also by how many colorful stories are told about it, and the long history of the fountain pen contains many. イ

④ The fascinating origins of the pen, for example, are inseparable from the development of writing itself. ウ ⑤ We all know about China's crucial invention of paper around 104 A.D. for brush-writing with "India ink." エ ⑥ But consider the Egyptians' earlier use of hollow reed pens to write on papyrus some 4,000 years ago.

オ ⑦ What is this if not the basic principle of the modern fountain pen, the ideal pen whose "fountain" would not run dry?

(入れるべき文)

Historians suggest that even these very early writing instruments can be seen as having a sort of internal tank which could supply ink steadily to the writing tip.

- Notes** (1) replace 「～に取って代わる」 affordable 「安価な、手頃な価格の」 rollerball 「水性ボールペン」
 (2) colorful 「波乱に富んだ、興味深い」 inseparable 「切り離せない」 Indian ink 「墨、墨汁」 hollow 「空洞の」 reed 「葦(あし)」 papyrus 「(植物の)パピルス、パピルス紙」 run dry 「干上がる」 What is this if not ... ? 「これはまさに...だ」(←「...でないならこれは何か」) principle 「原理、原則」
 (入れるべき文) steadily 「着実に、絶えず」 tip 「先、先端」

研究 2

まず、入れるべき文を (A) として、〈情報構造〉に基づいた構造の検討をしてみます。

Historians suggest [that

even **these very early writing instruments** (⇒ 指示語 = 旧情報)

can be seen as having a sort of internal tank [**which** ⑤ **could supply ink steadily to the writing tip**] (⇒ 重点情報 = 新情報)] .

「こうした初期の筆記用具でさえも、絶えずペン先にインクを供給できる、ある種の内蔵タンクを持っていると見なすことができると歴史学者は示唆している」

指示語 **these** を含む **very early writing instruments** は〈旧情報〉であり、これを受ける部分がこの文の前に存在すると考えられます。それと同時に、「ある種の内蔵タンクをもっている」という部分が〈重点情報〉(=新情報)ということになります。このことを考慮に入れつつ、全体を最初から見てみましょう。

◆ 空所 ア

① Widely replaced by more affordable and convenient ballpoint and rollerball pens, today **fountain pens as everyday writing tools are rarely seen.**

「より値段も手頃で便利なボールペンや水性ペンに広く取って代われ、今日では日常の筆記用具としての万年筆を見かけることはまずない」

⇒ Widely replaced by ... は分詞構文

② Precisely **for this** (⇒ 旧情報), **they** (= fountain pens) have caught the eye of **collectors** (⇒ 新情報).

「まさしくこういった理由で、万年筆は蒐集家の目を引いてきたのである」

⇒ this は前文の fountain pens as everyday writing tools are rarely seen を受ける

ア

③ **For collectors** (⇒ 旧情報), an item's value is increased not only by **how rare it** (= an item) **is** (⇒ 旧情報) but also by **how many colorful stories are told about it** (⇒ 新情報), **and the long history of the fountain pen contains many** (stories).

(⇒ 新情報)

「蒐集家にとって、蒐集物の価値を高めるのはどれだけ稀少かというのみならず、それにまつわる興味深い話がどれだけあるかであり、万年筆の長い歴史には多くのそういった逸話が含まれているのである」

第①文から第③文までは、〈旧情報 → 新情報〉のリンクがはっきりと見えています。アに(A)の文を入れてしまうと、この整合性が完全に乱れてしまうばかりか後続の第③文と(A)の新情報の部分「ある種の内蔵タンク云々」の部分も整合性が見られないことは明らかです。したがって、(A)をアに入れるべき正当な理由は見つかりません。

第③文では、おなじみの〈not only A but B〉が用いられていますが、この構文ではA(=旧情報)、B(=新情報)となります。この表現から、後続(イ以降)の内容はこの新情報の部分、つまり「万年筆の長い歴史が含むさまざまな逸話」の〈具体例〉が続くことがわかります。

◆空所 イ ウ エ

□イ

④ The fascinating origins of the pen, **for example**, are inseparable from the development of writing itself.

□ウ

⑤ We all know about China's crucial invention of paper around 104 A.D. for brush-writing with "India ink."

□エ

「(イ) ④例えば、万年筆の魅力的な起源は、文字そのものの発達とは切っても切り離せないである。(ウ) ⑤中国の紀元104年ごろの墨による毛筆用の紙という重大な発明は誰でも知っている。(エ)」

〈具体例〉を示す Discourse Marker である for example からも、第④文は第③文(many stories)の具体例であることがわかります。また、ここまで、すでに明らかですが、(A)の these early writing instruments が受ける複数名詞は、空所のイ、ウ、エの前に存在しないこと(第③④文の the pen は単数形)からも、イ、ウ、エはすべて不適です。

◆空所 オ

⑥ **But consider the Egyptians' earlier use of hollow reed pens to write on papyrus some 4,000 years ago** (⇒ 重点情報)。

□オ

⑦ What is **this** (⇒ 旧情報) if not the basic principle of the modern fountain pen, the ideal pen whose "fountain" would not run dry?

「⑥しかし、それよりも以前約4000年前にバビルスに書くためにエジプト人が用いたリード・ペン(葦ペン)を考えてみよう。(オ) ⑦これは現代の万年筆、すなわちその「泉」が枯れることのない理想的なペンのまさしく基本的原理ではないのか」

空所ア～エのいずれも(A)を入れるべき部分としては不適であることから、この空所オに入れるしかないのですが、そういう“消去法”ではなく、(A)をいれて、きちんと「論理的整合性」が成り立つかを確認する必要があります。

まず、(A)の these early writing instruments は、直前文となる第⑥文の重点情報の部分 the Egyptians' earlier use of hollow reed pens to write on papyrus some 4,000 years ago の hollow reed pens を受けると考えられます。(some 4,000 years ago も early と整合します)

次に後続文の第⑦文ですが、if 節の中で、〈主語 + be 動詞〉が省かれる構造です。全体は反語表現となっています。

What is **this** (⇒ 旧情報) if (it (= this) is) not the basic principle of the modern fountain pen, the ideal pen [whose "fountain" would not run dry] ?

⋮ 同格 ⋮

「これが現代の万年筆、つまりその「泉」が枯れることのない理想的なペンのまさしく基本的原理でないなら何なのか → これは基本原理そのものである」

この this が、(A)の「絶えずペン先にインクを供給できるある種の内蔵タンク」を受けるとは問題ありません。したがって正解はオです。この問題では、入れるべき文に指示語が含まれていましたが、入れるべき文の直後の this が〈旧情報〉として、入れるべき文の内容を受けていることにも注目できたかどうかが問われています。

これが真相!

未知情報 ⇨ 新情報 / 指示語 ⇨ 旧情報(前文の抽象化)

解答 オ

訳例 (1) ①より手頃で便利なボールペンや水性ペンに広く取って代われ、今日では日常の筆記用具としての万年筆を見かけることはまずない。②まさしくこうした理由で万年筆は蒐集家の目を引いてきた。

(2) ③蒐集家にとっては、蒐集物の価値を高めるのは、どれだけ稀少かということのみならず、それにまつわる興味深い話がどれだけあるかであり、万年筆の長い歴史には多くのそういった逸話が含まれている。④例えば、万年筆の魅力的な起源は、文字そのものの発達とは切っても切り離せない。⑤中国の紀元104年頃の墨による毛筆用の紙という重大な発明は誰でも知っている。⑥しかし、それよりも以前、約4000年前にバビルスに書くためにエジプト人が用いた葦ペンを考えてみよう。(オ) こうした初期の筆記用具でさえも、絶えずペン先にインクを供給できる、ある種の内蔵タンクを持っていると見なすことができると歴史学者は示唆している。⑦これは現代の万年筆、すなわちその「泉」が枯れることのない理想的なペンのまさしく基本的原理ではないのか。